

**2021年度  
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）**

公表：2022年 4月 25日

事業所名 児童発達支援事業所Tossie 保護者等数(児童数) 18 回収数 13 割合 72 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	2			・室内がもう少し広いとありがたいと感じる。・活動室は一つだが、スタッフの目がきちんと届くので良いと思う。・広いとはいえないが、椅子を出して広く使ったり工夫されていると思う。・のびのび動いている様子がリズムあそび参観から見受けられた。・もう少し広いスペースがあると望ましい。	定員10名に対して全体から見るとスペース的には狭いが、基準上は問題ない。構造的にスペースを区切ったりすることは難しいが、活動をグループに分けるなど工夫している。天気の良い日には、屋外で活動する事を基本としている。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12			1	・とても良く細かく見てくれていると感じる。	管理者1名・児童発達支援管理責任者2名・児童指導員1名・保育士4名・指導員2名・作業療法士1名(月3回)と、配置基準に加えて保育士を常勤換算で1名多く配置し、専門的な支援をしている。さらなる療育内容の充実・安全性の確保を図るため、利用人数によって職員を適宜、配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13					・ロッカーなど子どもたちが自ら整理整頓がしやすい高さ、位置になっているので、本人自ら片付けなどを行っている。	個人ロッカーに写真を貼り、視覚でわかりやすく工夫している。段差はなくバリアフリーになっており、各部屋、トイレ、お風呂全てに鍵をかけて安全を確保している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13					・室内へ入る機会はないが、清潔な空間だと思う。以前中へ入った時はトイレもとてもきれいだと感じた。	活動の中で、子ども達と職員と一緒に雑巾がけをしている。日当たりも良く、快適である。体を動かす活動の時には、椅子などを活動室の外に出す等、スペースを広く使えるように工夫している。また、活動に集中できるよう、おもちゃ等は必要に応じて室外から持ってきている。
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	13						児童のアセスメントシートを活用し、保護者からの情報を引き出すとともに、日々の活動での児童の様子を観察し、特記事項を記録し職員で共有している。それらを基に児童の実態を把握し、半年ごとに保護者との面談を交えながら個別の支援計画書を作成している。

適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			2	個々の発達支援はもちろんの事、家庭内での相談等には随時対応している。現在地域支援は、積極的には行っていない。児童発達支援ガイドラインはファイルに綴じ、玄関入り口付近に置き、いつでも閲覧できる。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1			・一人ひとりに合った支援が行われている。子どもにとって高すぎる目標ではなく、成長に合った目標もあり、わかりやすい。	職員会議や職員ミーティングを通して、職員間で個別の情報を共有し、適正な支援が行われている。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	13				・毎月、無理のないイベントを考えて行っており、子どもも楽しんでいる。・室内あそびの日もリズムや粘土、新聞紙あそびなど、様々なことをさせていただいている。なかなか自宅ではできないことなので嬉しい。	日常の活動(リズムあそび・お散歩など)を大事にしなが、粘土あそび・絵の具あそび・シーツあそび等、感覚あそびも取り入れている。今年は感染予防の為に課外活動は少なかったが、畑での作業も工夫しながら取り組んだ。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	1	4	・コロナ禍であることや、わが子は利用目的に参加はしていない。・今年もコロナの影響で交流がなかったが、当たり前のことなので仕方がないと思う。その中で畑やプールへ出向くこともできて、大変ありがたい。・交流があったら良いなと思っている。	例年は子どもの発達段階を考慮しながら、法人内の保育園と、定期的に交流している。今年も感染予防の為に、実施できなかったが、プールあそびに出向く機会を設けた。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1			重要事項説明は、閲覧できるように常時掲示している。利用者負担についても、利用開始前の重要事項説明面談の際に、説明している。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11			2	半年に1度個別支援計画に伴う個別面談を必ず行い、個別支援計画を保護者に示し、同意を得ている。今年も感染予防の為に、電話で面談を行った。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	11	1		1	保護者懇談会(年1回)、両親学級(年4回)、就学相談会(年1回)をオンラインにて開催した。保護者からの要望に応え、給食レシピも作成し、配布した。また写真と文章で構成した「子どもの育ち」も発行して、保護者と職員間で子どもの発達について共有し合っている。	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	12	1		<p>・送迎時に先生が本人の活動の様子を伝えてくれたり、連絡ノートにきちんと記入してくれているのでわかりやすい。・その日の様子やできるようになった事、課題や対策など色々なお話をさせていただけてとてもありがたい。また、長所もたくさん教えていただけて、親としてとても嬉しく、安心して通わせている。・家ではできなかった事がどうしても目につくが、Tossieではできた事、すてきな所もふまえて子どもの状況を伝えてくれる。・話をよく聞いてくださると思う。</p>	毎日、連絡帳および児童送迎の際に保護者の方と情報を共有している。感染予防再徹底のために玄関先での児童受け渡しを行っている為会話の機会が減ってしまったが、重要な内容は必ず口頭で直接伝えるように配慮している。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13			<p>・毎日の送り迎えの時、子どももウロウロしてしまい、あまり話せる時間がないので、電話面談は非常にありがたく、子どもの日常の姿を知れる良い機会だった。・適切かつ温かい助言がいただけるので、いつも感謝している。</p>	随時、相談に適切に応じ、助言と支援を行っている。今年も、感染予防の為に対面での面談は積極的には行っていないが、重要な内容については工夫して対面での面談を設定した。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	2	1	<p>・コロナ禍になってからは、ZOOMを使用する等方法を考えて開催してくれている。</p>	保育園の文集作成等、できる限りの協力をはかっている。例年は対面での保護者懇談会を開催したり、親睦会を企画する等、保護者同士の連携を支援しているが、今年も感染予防の為に難しかった為、オンラインで開催できるものは実施した。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12			<p>・子どもの相談はもちろん、親の変化にも気をつけて頂いている。親の顔色をみて声をかけてくれたり、悩み事や、子どもに対してモヤモヤしたことも聞いてくれて、求めればアドバイスもしてくれる。家族以外にこうして思ったことや悩み等を受け止めてくれる先生たちがいてくださり、とても心強い。</p>	随時、必要に応じて対応している。苦情等に関しては玄関に意見箱を設け、直接申し出にくい事案についても、対応を整備している。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13				児童に対しては言葉の表出も大切にしながら、ジェスチャーも併用して意志の疎通に努めている。保護者へは連絡帳や、必要に応じて電話等で連絡をするなど、情報の共有に努めている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13			<p>・リニューアルされたHPはとても見やすい。ブログの更新も楽しみによくのぞきにいく。子どもも自分の写真が載っていると嬉しそうである。</p>	毎日ブログにて活動内容や給食を発信している。また、今年も写真付きの活動報告「子どもの育ち」を年2回発行して、利用児童全員の育ちの姿を、全保護者が共有できた。必要に応じて「Tossieだより」も発行している。自己評価の結果は年1回、ホームページにて公表している。

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	1			職員マニュアルを基に、職員に周知し、十分配慮している。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	12	1			緊急時対応マニュアルを保護者にも配布し、定期的に(年3回)児童の避難訓練を行っている。ただし、大きな地震に備えてさらなる避難訓練が必要であると感じているので、来年度からは月1回実施する。防犯マニュアル・感染症対応マニュアルは周知はしていないため、今後整備し周知に努める。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	1			定期的に避難訓練を行っている。また非常時の食事も保護者からお預かりし、個別に管理している。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13				・「トッシー楽しい」「〇〇先生」と家で笑顔で言っているのが楽しみにしていると思う。・よく帰り道に「今日トッシー楽しかった！」と言っている。
	23	事業所の支援に満足しているか	13				・満足している。不満を感じたことはない。子どもに対してはもちろん、保護者にも寄り添ってくれるトッシーに日々感謝している。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。